

2022年度重点領域研究助成費 中間報告書

2023年3月16日

報告者	学科名	子ども学科	職名	准教授	氏名	小畑 千晴
研究課題	「雑草型」幼児教育人材の育成を見据えた地域・国際参加・協働型アクションリサーチ					
研究期間	2022年度～2023年度					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表 小畑 千晴	子ども学科・准教授	臨床心理学	研究全体の統括		
分担者	安久津 太一 デスマレス エリック	子ども学科・教授 子ども学科・准教授	音楽教育学 社会福祉学	教育実践と評価 教育実践・文献調査		
	伊東 秀之	栄養学科・教授	食品化学	食品学の知識提供		
	川上 貴代	栄養学科・教授	栄養学	栄養教育学の知識提供		
	嘉数 彰彦	ビジュアルデザイン学科・教授	映像デザイン	写真集デザイン・製作		
	向山 徹	建築学科・教授	建築学	什器のデザイン製作		
	畠 和宏	建築学科・准教授	建築学	什器のデザイン製作		
初年度の成果	<p>学内自然環境を生かした雑草型幼児教育人材育成を実施する導入に、Edible Education (EE) の手法を取入れ、食を通じた生命や自然、文化との繋がりを体験的に学習することに加え、あらゆる学びの領域に働きかける教科横断型の学際的教育をスタートさせた。初年度は、ガーデンの植栽計画と栽培育成の実施、複数講義を実施した。特別講師として、京都府立大学佐藤洋一郎教授を招き、グローバル社会における食の意味についてご講義いただいた。取組に関する学生アンケートの結果からは、90%以上の学生が自然・食への興味関心につながった、自然と人との関係の在り方を考える契機になったと回答しており、一定程度の効果があつたといえる。</p> <p>視察として、国内でいち早くEEの取組を開始しEEネットワークに登録していた徳島県神山町に訪問した。NPO 団体が中心となり、小学生から高校生までの子どもと地域が関り、農作業や食材の加工・調理と共食の実践の様子を拝見した。</p> <p>当人材育成の2つ目の柱である学内自然環境については、専門家によるご指導の下、樹木・雑草・鳥類調査を実施した。秋から冬での調査がまとまり、年度最後には各班ごとの報告を行い、学生たちの自然環境への興味関心を促進することができた。しかしフィールドワークが先行し知識が十分ではないため、次年度は講義を実施したい。</p> <p>最後に「雑草型幼児教育人材育成—キャンパスをフィールドにした自然資本の活用—」として、2022年エスベック地球環境研究・技術基金より1年間、600千円、「Edible Educationを活用した探求学習プログラム開発に向けた心理学的研究」が令和5年度科研、基盤研究Cとして2400千円(3年間)の採択を受けた。また、地球環境問題の解決にむけて将来の貢献が期待できるとされ、エスベック環境研究奨励賞も授与された。</p>					

<p>調査研究の進捗状況と今後の推進方策</p>	<p>1年目のEE実践を通じて得た成果と課題を踏まえ、今年度同様、野菜の育成を行いながら、米国のEEプログラムを日本の子ども向けにアレンジし、県立大学独自のEEプログラム作成を目指す。地域の子どもたちを定期的に本学に招き、実践を通じたプログラムの検討と課題の明確化を行い、次年度に引き継げるような授業構成を構築化する。同時に、本取組の実施前後に、学生の意識や知識変化を測定するため、心理学・教育学の視点に基づく効果測定、評価手法の検討も行う。特に、コロンビア大学で開発されている、フロー観察法を援用し、開発者であるDr. Lori Custoderの助言を得ながら、自然豊かな環境と子どもたちの接点、感性が刺激されて引出される学びの様相を可視化する試みを加える。</p> <p>また、昨年実施できなかった野菜の調理と共食を行う。次年度は、栄養学科教員の協力を得ることが可能となり、調理室を使用して自分たちの育てた野菜の収穫・調理とともに、栄養学的講義も行う。EEの特徴である、種まきから育成・調理・共食を通じて、他分野領域の知識の発展の充実を図りたい。以上取組をOPUフォーラムをはじめとして、各機会をとらえ発表していく予定である。</p> <p>加えてEE連携に向けて、本拠地である米国バークレーを訪問し、EE研究所やEEを実践する学校、幼稚園等を視察したい。米国を中心に76か国5800カ所でEEは実践されており、EEに取り組む世界の教育機関、研究機関との繋がりが可能になり、グローバルな学びを学生に提供できるため、現地を訪問し関係の構築を図りたい。</p> <p>また、学内自然環境については、引き続き春～夏の調査を行う。昨年は調査中心であったため、樹木・雑草・鳥それぞれの分野ごとの知識だけでなく、自然の循環や連関、摂理までを扱った講義を行う。同時に、結果をまとめ写真集の製作を行う。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>添付資料あり。</p>